

第73期（2026年3月期）決算

売上高1.7%減 18億1,986万円

営業利益21.3%減 4,809万円

2期ぶり減収減益 売上高18億円は2期連続

当社は本日開いた取締役会で2026年3月期決算を承認しました。概要は次の通りです。

1. 2026年3月期の経営成績

単位千円、右は増減率

	売上高		営業損益		経常損益		当期純損益	
2026年3月期	1,819,865	-1.7%	48,095	-21.3%	57,774	-17.7%	47,130	-58.4%
2025年3月期	1,851,436	10.9%	61,135	42.1%	70,161	37.0%	113,297	2.1倍

2. 損益計算

単位千円、カッコ内は2025年3月期、右は増減率

(営業損益の部)				
売上高		1,819,865	(1,851,436)	-1.7%
営業費用		1,771,770	(1,790,300)	-1.0%
営業利益		48,095	(61,135)	-21.3%
(営業外損益の部)				
営業外収益		11,580	(20,117)	-42.4%
営業外費用		1,900	(11,091)	-82.9%
経常利益		57,774	(70,161)	-17.7%
(特別損益の部)				
特別利益		—	(60,897)	
特別損失		3,327	(20,454)	
税引前当期純利益		54,447	(110,604)	-50.8%
法人税等		10,113	(2,891)	
法人税等調整額		△2,796	(△5,584)	
当期純利益		47,130	(113,297)	-58.4%

【決算概要】

- ・ 売上高は 18億19百万円で前の期に比べ1.7%減。昨年度15年ぶりに18億円台を回復して以来2期連続の18億円台
- ・ 営業損益は21.3%減の 48百万円で3期ぶり減益、8期連続黒字
- ・ 税引き前当期純損益は、受取配当金、固定資産除却損などを計上し 5,444万円の黒字
- ・ 当期純損益は法人税等 10百万円、法人税等調整額 △2百万円が計上され4,700万円の黒字。黒字は6期連続

【部門別】

- ・ 放送事業収入は 8億78百万円で5.7%減。マーケット、スポーツ、医学が減収。一般番組は新番組が寄与し増収
- ・ 放送外収入は9億41百万円で2.3%増。イベントは自社のIRイベントが好調だったほか、大型の外部イベント受注が寄与。デジタルはradikoのオーディオAD提供枠拡大が功を奏したことなどで増収。医療従事者向け学習教材制作による収入も伸びた
- ・ 不動産賃貸収入（赤坂インターシティAIR）は減収

【今期見通し】

- ・ 前期比で増収増益の予算を組んでいる
- ・ 放送分野では春の改編で平日午後のマーケット番組を刷新してより幅広くお金に関する話題を掘り下げる新規大型ワイド番組を開始したほか、競馬中継70周年記念企画への取り組みなど、コンテンツの強化に取り組む。またイベント運営の効率化やコンテンツの複合活用を推進することにより利益率の向上を目指す。

以上